

# 新学術領域研究「精密制御反応場」 第2回公開シンポジウムプログラム

平成29年1月25日(水)～26日(木)

名古屋大学ES総合館1階ESホール

1月25日(水曜日)

- 13:00～13:10 領域代表挨拶
- 13:10～13:30 キラルらせん高分子を反応場とする触媒的不斉反応  
杉野目道紀(京大院工)
- 13:30～13:50 固体表面での協奏的触媒作用を指向した活性点集積型反応場の構築  
本倉 健(東工大物質理工)
- 13:50～14:10 典型元素の持つ不斉触媒能の活用  
橋本 卓也(京大院理)
- 14:10～14:30 ゲルを利用したバイオミメティック固定化触媒と  
リアクターの開発  
三浦 佳子(九大院工)
- 14:30～14:50 規則性メソポーラス有機シリカ(PMO)上に固定化した  
鉄錯体による触媒反応  
原 賢二(東京工科大工)
- 14:50～15:10 *N*-ヒドロキシアニリン誘導体の触媒的[1,3]転位反応  
中村 達(東北大院理)
- 15:10～15:30 コーヒーブレイク
- 15:30～15:50 AZADO-Cu 協奏触媒による高化学選択的アルコール空気  
酸化反応の開発と展開  
岩渕 好治(東北大院薬)
- 15:50～16:10 精密水素移動場を用いるペプチド類の脱水的な形成と変換  
齋藤 進(名大院理)
- 16:10～16:30 炭素-窒素単結合の遷移金属錯体への酸化的付加を鍵とする  
飽和環状アミン類の変換反応  
武田 洋平(阪大院工)
- 16:30～17:30 **特別講演**  
有機触媒化学の新展開  
丸岡 啓二(京大院理)
- 17:30～17:40 講評
- 18:00～20:00 懇親会(グリーンサロン東山)

1月26日(木曜日)

- 9:30~9:50 鉄及びコバルト錯体による触媒的窒素固定反応の開発  
西林 仁昭 (東大院工)
- 9:50~10:10 フッ素脱離過程を活用するフルオロアルケンの  
炭素-フッ素結合活性化  
市川 淳士 (筑波大数理)
- 10:10~10:30 パラジウム錯体を用いた炭化水素類の末端選択的な酸素官能基化  
浦 康之 (奈良女大理)
- 10:30~10:50 カルボン酸類を始めとする入手容易な分子の  
触媒的変換反応の開発  
佐藤 哲也 (阪大院理)
- 10:50~11:10 第四級アンモニウム塩を触媒とする高付加価値  
エポキシ化合物の合成  
田中 真司 (産総研触媒化学融合RC)
- 11:10~11:30 分子認識による反応場制御  
山口 浩靖 (阪大院理)
- 11:30~13:00 昼食休憩
- 13:00~13:20 ペプチド誘導体が繰り出す不斉構造規制場の機能設計  
森内 敏之 (阪大院工)
- 13:20~13:40 錯体依存型選択酸化触媒の開発  
人見 穰 (同志社大院理工)
- 13:40~14:00 フルオロシリケート触媒による脱フッ素水素化反応  
生越 専介 (阪大院工)
- 14:00~14:20 多金属精密反応場を用いる高活性アニオン活性化不斉触媒の開発  
荒井 孝義 (千葉大院理)
- 14:20~14:40 面不斉ハーフメタロセン配位子を活用した  
高立体選択的不斉触媒反応  
神川 憲 (阪府大院理)
- 14:40~15:00 アルキルニトリルを求核種前駆体とする触媒的  
不斉 C-C 結合形成反応  
熊谷 直哉 (微化研)
- 15:00~15:20 事務連絡・閉会